

10/12
(水)

川床中で郷土料理教室 郷土の味を学ぶ

10月12日、川床中学校(前原貢子校長・39人)で地域人材を活用した郷土料理教室がありました。

これは地域のかたがたとの交流を深め、郷土の伝統や文化を継承していこうとする態度を育成することを目的に、昨年から始まりました。

当日は3年生12人が参加。地元の脇崎青空クラブから6人の講師を招き、郷土料理の一つ「つけあげ」を作りました。

講師の田中豊美さん(脇崎)は「今回の学びを通して地元の食材を使った郷土料理に少しでも興味

講師に教えを受けながら調理する生徒



を持ってもらえれば」と話し、3年の角中優希美さんは「郷土の味をもっと知りたいと思った」と話しました。

10/16
(日)

100歳のお祝い 感謝の気持ちを忘れずに

10月26日、梅田ミツノさん(平尾中南)が100歳の誕生日を迎えました。

10月16日、100歳を記念して川添町長からお祝いの賞状とお祝い品が手渡されました。

梅田さんは明るく朗らかな性格で人と話するのが大好きなかたです。ひ孫に会うことが今の楽しみになっています。

100歳を迎えて、「日頃から感謝の気持ちを大事にしている。その気持ちを言葉にして家族や支えてくれる人に伝え続けていきたい」と話しました。



川添町長からお祝い品を受け取る梅田さん

10/18
(火)

平尾十五社神社秋の大祭 地域の発展をこれからも

10月18日、平尾の母良木地区にある十五社神社で毎年恒例の秋の大祭が行われました。

同神社は室町時代以前からこの地区にあると言われており、平成27年に地域住民によって現在の神社に建て替えられました。

当日は神社総代や自治公民館長が参加。田淵健総代は「この神社は平尾地区の発展や住民の暮らしを長く見守ってきた。これからもそうあり続けられるよう、地域全体で大切に守っていききたい」と話しました。

新たに設置された看板と参加者



神社の前には、名前や由緒を知ってもらいたいと、さい銭を活用して新たに大きな看板も設置されました。